

「21・ろうふく」め～る

厚生労働大臣あて介護保険制度の抜本的改善を求める要望署名を提出

2月5日、「施設長・管理者会議」に参加した代表16名で、厚生労働省を訪問、全国から集まった署名2万8139筆（第一次分）を担当者に提出しました。

その後、署名の要望項目（8項目）に基づき、担当者との懇談を行いました。特に、人材確保

保は深刻であること、要支援者の生活援助を元に戻すこと等、現場の実態を参加者から訴えるとともに、人材確保のための抜本的な対策、介護職員の処遇改善は加算ではなく基本報酬に盛り込み大幅な増額が喫緊の課題であると訴えました。署名は3月末に最終提出します。



▲ 21・老福連署名 28,139 筆を提出する白十字ホームの松下さんら（右端）
▼ 厚生労働省（右側）と懇談する16名の代表者



厚労省との懇談を終えて、札幌での火災による死亡事件の背景には、老人福祉法にもとづく養護老人ホーム等への措置を行わず、行政責任を曖昧にしていることにあるが、行政担当者は担当課が異なると老人福祉法を知らない状況である。さらに、「自立の概念」を否定する、介護サービスからの自立・卒業を唱える厚生労働省や審議会での発言など、まさに介護が崩壊するのではと感じました。介護保険で対応できない生活上の問題に責任を負うには、老人福祉法の拡充が必要です。

今後の主な予定

- ◆ 2月26日 第9回事務局会議
 - ◆ 3月末 厚生労働大臣あて署名最終分の提出
 - ◆ 4月 2018年度 第1回幹事会（大阪市内で予定）
 - ◆ 7月7日～8日 21・老福連「2018年度総会」（金沢市内にて）
 - ◆ 第18回職員研究交流会（熊本市内）
- 開催日を11月24日～26日とお知らせしましたが、2日目の会場利用が困難になり、現在現地実行委員会で調整をしています。日程が確定次第、お知らせいたします。

■ 「21・老福連」の活動などを会員の皆様にお知らせする「21・ろうふくめぐる」を適時発行していきます。基本はメール送信とします。（事務局）